

令和3年度予算編成方針

令和3年度予算編成に向けて

摂津市長 森山 一正

我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続き、企業収益が高水準で推移する中、個人消費や設備投資が増加傾向で推移するなど、緩やかな回復が続いていた。本市の令和元年度財政指標においても、おおむね改善傾向にあり、主要基金は約129億円へと増加、市債残高は約487億円とピーク時に比べ、大幅に減少している。

しかしながら、昨年度終盤に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大は、人々の生活様式を一変させるとともに、経済状況を悪化させ、市民生活や市政運営に大きな影響を及ぼしている。本市では、市民の安全・安心を守るため、令和2年度においてはすでに5度にわたる新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算を編成し、迅速かつ的確に施策を展開してきたが、いまだにその収束は見通せず、日々変化する感染状況を踏まえての臨機応変な対応が求められている。

今後においても、感染症対策並びに新しい生活様式に対応した取り組みを引き続き実行していくためには、積極的な財源の確保、業務効率化の徹底をより一層進める必要がある。

また、人口減少、少子高齢化の対処が、全国的な課題となっている中、本市の状況を踏まえた対策も行っていかなければならない。更には暮らしによる安全・安心を確保するため、多発する自然災害に備える取り組みを進めることも必要である。

そのため、人口減少、少子高齢化、災害対策の視点を中心とした「財政健全化」、「夢づくり」、「人づくり」に取り組んでいくこととし、令和3年度以降においても「こども」、「健康」、「安全・安心」の3つを重点テーマに据え、5期目のスタートとする。